

平成27年度 新規、1、2、3年目日本公認審判講習会 実施報告書

愛媛県バスケットボール協会 二宮 光司
池田 隼人
高橋 瑞紀

1 講習会名

平成27年度 新規、1、2、3年目日本公認審判員講習会

2 大会名

2016今治カップ（男子）

3 実施日・会場

平成28年3月26日（土）、27日（日）

菊間緑の広場公園運動場総合体育館

4 講師

愛媛県バスケットボール協会審判委員会

5 参加者

26日16名 27日16名

6 スケジュール

3月26日（土）

8時10分～ 開講式

9時～ 第1試合開始 実技（プレカンファレンス・ミーティング）

17時～ ディスカッション 「準備と試合後の振り返り」

愛媛県バスケットボール協会審判委員会

3月27日（日）

8時～ 講義 「日本公認審判員としての自覚と責任」

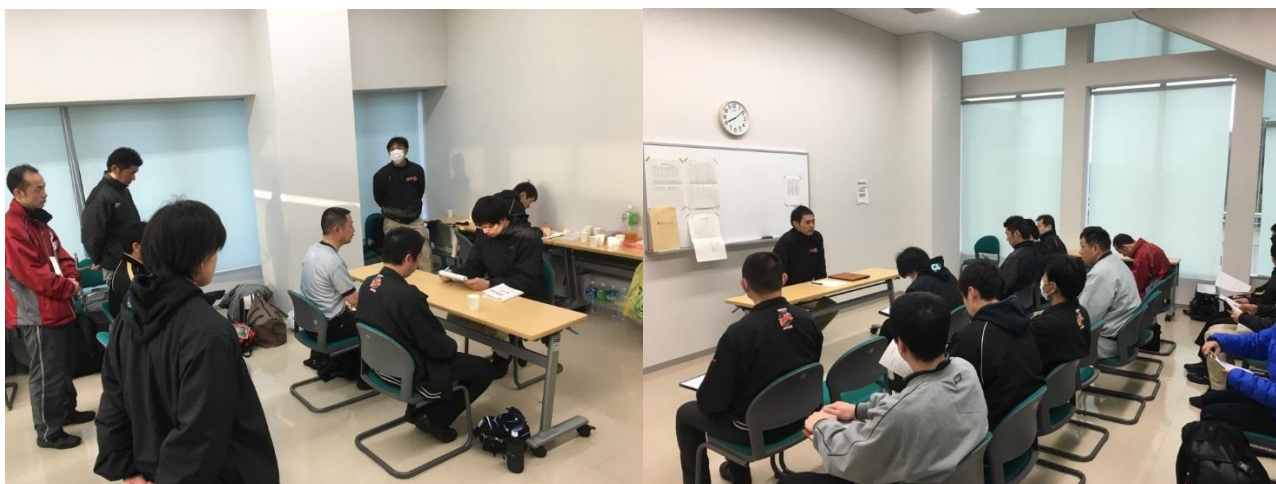
愛媛県バスケットボール協会審判委員会 薦田侑二郎氏

9時～ 第1試合開始 実技（プレカンファレンス・ミーティング）

17時～ 最終ゲーム終了後 閉講式

終了後、各自解散

7 講習会の様子



8 受講者の感想（抜粋）

- ・ 今回の講習会をきっかけに、まず基本をしっかりと身に付けて、その基本の質を少しでも上げようと努力する姿勢で、新規日本公認の初年度を始めていきたいと思う。

- ・ ライセンスを取ったものの、これからが大変だという気持ちがあった。受けたアドバイスを今後に生かし、他の審判員の方々との連携を一層深め、楽しく審判をしていきたいと思う。
- ・ 毎年フレッシュな方々と審判をすることができて、気が引き締まる。同期や仲間とのコミュニケーションをしっかりとって、より良い審判になりたいと思う。
- ・ 昨年はコート上のプレーヤーを追うことで精一杯だったが、1年間の審判活動を経て、TOにも意識を置ける余裕ができた。新規公認に負けないよう、先輩レフリーに追いつけるよう、努力していきたい。
- ・ カテゴリーの違うレフリーの方と意見交換することができ、自分にとってためになった。自分自身を見直すいい機会になった。
- ・ 自分では足を運んでいるつもりでも、主任の方にはもっと足を運ぶように言われ、まだまだと実感した。来年も参加して、今年より成長しているか確認をしたい。

9 所感

講師の薦田氏には、これからの新ライセンス制度や日本公認審判員としての意識設定について分かりやすく丁寧にお話していただきました。厚く御礼申し上げます。様々な理由で日本公認の資格を習得されている人がいるため、その中でも「自覚と責任」をしっかりと持って、今後の活動に臨んでいかなければいけないことが分かりました。今回の参加者の方には、オンザコートだけでなく、主任も経験していただきました。また、割当もご無理を言う部分が多くあり、ご迷惑をお掛けいたしました。今回学んだことをぜひこの1年間の課題として、チャレンジしていただきたいと思います。参加していただいた皆様、ありがとうございました。

今回運営をさせていただき、いつもとは異なる立場で、新たな課題を見つけることができました。熱心に1ゲーム1ゲームに向き合う講習生の方々の姿をみて、私たち自身もライセンスを上げ、より良い指導ができ、良き手本となれるように、努力をしなければいけないと感じました。愛媛国体だけでなく、その先も見据えた審判活動ができるように、今後とも研鑽を積んでいきたいと思います。

最後になりましたが、本審判講習会にあたり多大なるご協力いただきました、今治バスケットボール協会、及び関係者の皆様に深く御礼申し上げます。ありがとうございました。